

7 ヤング健診事業(拡充)

(1) 経緯

- 平成20年度に事業を開催して平成25年度で6年目を迎えた。
- 『若いうちから生活習慣を振り返るきっかけ』とし、健診および保健指導を受ける機会を提供し生活習慣病の予防につなげることを目的としている。
- 受診者数は年々微減している。
- しかし、第一ターゲットとしたい35歳の受診率については16～17%台で推移している。
⇒35歳での受診率をより上げたいこと。また36～39歳で健診を受ける機会のない方の受診者数を増やし健康管理に役立ててもらい、40歳以降の特定健診受診へとつなげていきたいと考え、平成25年度、形態を変えて実施することとした。【別紙1】

(主な変更点)

- 各時期に健診日を設けることで、通年にわたり受けやすくする。
- 通知を他健診事業と合わせることで、互いの受診率を上げる。
- 日数、土日開催を増やし利便性を上げる。

(2) 平成24年度までと平成25年度の比較(変更点)

	～H24年度	H25年度
通知方法	住民税特別徴収対象者以外への個別通知(封書)	すべての35歳(圧着ハガキ) ※歯周病予防個別健診と合わせて通知
開催日程	7月頃の連続した5日間(午前)	7月(2回)、8月、10月、11月、2月の6日間(午前)
開催曜日	平日開催4日間 日曜開催1日間	平日開催4日間 土日開催2日間(土曜開催を1日増やす)
開催場所	小牧市公民館、勤労センターの2か所	小牧市公民館、保健センター、東部市民センターの3か所
メリット	<ul style="list-style-type: none"> ・健診時期が定まっているため、受診PRや事後指導が行いやすく、管理しやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・圧着ハガキでの通知のため、見てもらいやすい。また、他事業と合わせて意識してもらいやすい。 ・健診時期がバラバラなため、住民が受けたいと思った時や都合のよい時期に受けやすい。 ・より近い場所を選んでいただくことができる。 ・人数が各回にバラつくため、通常相談等を利用して結果返しや事後指導ができる。 ・税金の特別徴収対象者(どこかへ勤めていると思われる人)にも通知が行くが、受診機会がない人をひろうことができる。
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> ・健診時期が過ぎてしまったら、受けることができない。 ・日曜に申し込みが集中しやすく、平日は定員に満たない日があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・集団の事後指導を行いにくい。 ・受診者が少ない回があると、事業効率は悪い。

○ヤング健診受診者数推移

	年度	対象者数 (35歳+ 要支援者)	受診者数 (35歳)	受診率 (35歳)	受診者数 (36~39歳)	受診者数
1	20年度	1,613	276	17.1	285	561
2	21年度	1,542	311	20.1	154	465
3	22年度	1,456	234	16.0	170	404
4	23年度	1,297	220	16.9	146	366
5	24年度	1,291	229	17.7	110	339

